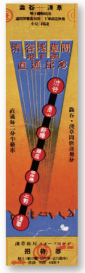
西暦	年号	年齢	早川徳次に関するできごと	年号	地下鉄・世の中のできごと
1881	明治14年		10月15日、山梨県東八代郡御代咲村（現：笛吹市一宮町）に生まれる	M14	日本鉄道（後に国有化）設立
1900	明治33年	19歳	旧制山梨県立甲府中学校（現在の県立甲府第一高校）を卒業	M15	東京馬車鉄道、新橋～日本橋間開通（馬車鉄道のはじまり）
1904	明治37年	23歳	旧制第六高等学校（現：岡山大学）に入学するも病気のため、中退	M22	官営鉄道　東海道線～神戸間全通
1905	明治38年	24歳	早稲田大学高等予科に入学	M24	日本鉄道　上野～青森間全通
1908	明治41年	27歳	早稲田大学法科本科に入学	M33	東京電気鉄道（後の都電の一部）設立
1911	明治44年	30歳	早稲田大学を卒業	M36	東京電車鉄道　馬車鉄道から東京発の市街電車運転開始
1912	明治45年	31歳	後藤新平が総裁を務める南満州鉄道に入社し、のちに鉄道院に入る	M37	日露戦争始まる
1914	大正3年	33歳	根津嘉一郎のもとで佐野鉄道（現：東武鉄道佐野線）の経営に携わる	M38	瀬戸自動鉄道（現：名鉄瀬戸線）蒸気動車で開通
1916	大正5年	35歳	高野登山鉄道（現：南海電鉄高野線）の経営に支配人として携わる	M39	東京電車、東京市街、東京電気3社合併して東京鉄道株式会社創立
1917	大正6年	36歳	鉄道と港湾の関係を調査するため渡欧し、ロンドンの地下鉄の発達を目撃する	M42	山手線開通（上野～烏森（現：新橋）・池袋経由）
			イギリス・フランス・スイス・カナダ・アメリカを巡り帰国	M45	東京に初のタクシー登場
			東京軽便地下鉄道を設立し、高輪南町～公園広小路（浅草）間、車坂町～南千住町間の地下鉄敷設免許を申請	T3	第一次世界大戦始まる
1919	大正8年	38歳	東京軽便地下鉄道が地下鉄敷設免許を取得		東京駅完成、全国鉄道網の中心駅となる
1920	大正9年	39歳	東京軽便地下鉄道を東京地下鉄道株式会社と改称し、会社創立。	T8	乗合バス（通称青バス）が新橋～上野間で開通
			社長に古市公威が就任、早川は常務取締役に就任		地方鉄道法公布
1924	大正13年	43歳	東京地下鉄道の専務取締役に就任	T12	関東大震災がおこる
1925	大正14年	44歳	地下鉄工事、上野～浅草間に着手する	T13	東京市営バスが誕生
1927	昭和2年	46歳	日本初の地下鉄、上野～浅草間（現：銀座線の一部）開通	T14	山手線で環状運転開始
1930	昭和5年	49歳	上野～萬世橋間開通	S4	東京地下鉄道　浅草駅に雷門ビル落成
1931	昭和6年	50歳	萬世橋～神田間開通、萬世橋駅廃止		地下鉄食堂営業開始
1932	昭和7年	51歳	神田～三越前間、三越前～京橋間開通	S5	東京地下鉄道　上野駅構内に地下鉄ストアを開設
1934	昭和9年	53歳	京橋～銀座間、銀座～新橋間開通	S6	東京地下鉄道　上野駅に地下鉄ストアビル落成・開店
			初の記念乗車券発売	S7	三越前駅に地下鉄初のエスカレーターを設置
1939	昭和14年	58歳	東京高速鉄道が新橋まで完成		東京地下鉄道　社長に根津嘉一郎氏就任
			8ヶ月後の9月16日、東京地下鉄道、浅草～渋谷間との直通運転を開始	S8	須田町ストア開店
1940	昭和15年	59歳	東京地下鉄道の社長に就任するが、東京高速鉄道との経営権争いの結果、退任	S9	大阪市営地下鉄　梅田～心斎橋間開通
			緑綬褒章を受章	S10	東京高速鉄道株式会社設立
				S12	東京地下鉄道　東京乗合自動車（通称青バス）を傘下
				S14	日中戦争始まる
					第二次世界大戦始まる
				S16	帝都高速度交通営団設立
					太平洋戦争始まる
1942	昭和17年	61歳	11月29日、逝去	S17	関門トンネル（鉄道）が完成

集合写真 大隈重信像前
前から3列目、左から6人目が早川

早川徳次のパスポート

建設工事概要
上野～浅草間


記念乗車券
渋谷～浅草間直通

記念乗車券
新橋～浅草間開通

読売新聞記事
昭和9年6月20日

緑綬褒章の記

大正初めの銀座

雷門直営食堂

新聞夕刊引換券

■地下鉄に関するできごと